

Top Tec ATF 1200

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

セクション 1: 化学品及び会社情報

ラベルに使用される製品の識別子
製品名

Top Tec ATF 1200

他の識別手段

3681 (1L); 3682 (5L); 3683 (20L)

化学品の推奨用途と使用上の制限
推奨用途
使用上の制限

オートマチックトランスミッションオイル
知られていない。

安全性データシート供給者の詳細
供給者の詳細
納入業者の住所

LIQUI MOLY GmbH
Jerg-Wieland-Str. 4
89081 Ulm-Lehr
ドイツ

電話
F a x
E メール(担当者)

(+49) 0731-1420-0
(+49) 0731-1420-88
info@liqui-moly.de

緊急電話番号
緊急連絡用電話の番号

+49 (0) 6132 / 84463 24 時間

セクション 2: 危険性物質の特定

危険有害性の概要

製品の取り扱い:

赤色。 液体。 独特な臭い。 吸入すると有害。 皮膚刺激。 重大な目への刺激を引き起こす。 遺伝性疾患のおそれの疑い。 臓器への損傷を引き起こす 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。
飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

物質または混合物の分類
以下に準拠: JIS Z 7252: 2019
物理的な危険性
健康に対する有害性

分類されていない。
Acute Tox. 4; H332
Skin Irrit. 2; H315
Eye Irrit. 2; H319
Muta. 2; H341
STOT SE 2; H371
STOT RE 1; H372
Aquatic Acute 3; H402
Aquatic Chronic 2; H411

環境に対する危険

表示要素

危険性を表す絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H332: 吸入すると有害。
H315: 皮膚刺激。
H319: 強い眼刺激。
H341: 遺伝性疾患のおそれの疑い。
H371: 臓器の障害のおそれ。
H372: 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害。
H402: 水生生物に有害。
H411: 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き
安全対策

P201: 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面 を着用すること。
P264: 取り扱いの後手と暴露された皮膚を徹底的に洗う。
P270: この製品を使用するときに, 飲食又は喫煙をしないこと。
P260: 蒸気じんを吸入しないこと。
P271: 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P273: 環境への放出を避けること。
P304+P340: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し, 呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P312: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P302+P352: 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。
P332+P313: 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当を受けること。
P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337+P313: 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当を受けること。
P308+P311: ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
P405: 施錠して保管すること。
P501: 内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。

応答

保管
廃棄

他の危険有害性

知られていない。

セクション 3: 組成/成分の情報

化学物質 - 該当なし。
混合物

GHS の分類 JIS Z 7252: 2019

| 物質の化学的特定名 | %W/W | CAS 番号 | EC 番号 | 化審法 官報公示 番号 [^] | 危険有害性分類 |
|-----------------|------|------------|-----------|-----------------------------|---|
| 水素処理軽パラフィン系石油留分 | <90 | 72623-87-1 | 276-738-4 | - | Flam. Liq. 4; H227 Acute Tox. 4; H332 Muta. 2; H341 |

Top Tec ATF 1200

発刊日.: 31/07/2020

バージョン: 1.0

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

| | | | | | |
|--|------|-------------|-----------|-------|--|
| | | | | | STOT SE 2; H371 STOT RE 1; H372 Asp. Tox. 1; H304 |
| ビス (ノナン-1-イルフェニル) アミン | <2 | 36878-20-3 | 253-249-4 | 3-138 | Aquatic Chronic 3; H412 |
| 3- (3,5-ジ-tert-ブチル-4-ヒドロキシフェニル) プロパン酸のアルキル (C =7-9、分岐鎖) エステル | <2 | 125643-61-0 | 406-040-9 | - | Aquatic Chronic 4; H413 |
| Thiophene, tetrahydro-, 1,1-dioxide, 3-(C9-11-isoalkyloxy) derivs., C10-rich | <2 | 398141-87-2 | 800-172-4 | - | Aquatic Chronic 2; H411 |
| Alkyl phosphites | <2 | - | 424-820-7 | - | Acute Tox. 4; H312 Skin Corr. 1B; H314 Eye Dam. 1; H318 Aquatic Acute 1; H400 Aquatic Chronic 1; H410 |
| 4,4'-スルファンジイルジエチレンビス [2- (オクタデセン-1-イル) コハク酸水素] | <0.5 | 93882-40-7 | 299-434-3 | - | Eye Irrit. 2; H319 Skin Sens. 1; H317 Aquatic Acute 2; H401 Aquatic Chronic 2; H411 |

H/P フレーズのテキスト全部分については、セクション 16 を参照する。化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律 (MITI 番号) 当製品の分類に影響を与えるであろう他の成分または不純物はありません

セクション 4: 応急処置



応急処置の説明

吸入

吸入した場合: 呼吸困難の場合は、被災者を新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。病人が呼吸をしていない場合にのみ人工呼吸を行います。けれども、マウス・ツー・マウス人工呼吸法は使用してはいけません。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受ける。

皮膚接触

皮膚 (又は髪) に付着した場合: 汚染された衣服を直ちに脱いで、接触した皮膚部位を多量の水または石鹸と水で洗う。刺激 (発赤、発疹、水疱) があらわれた場合、医師の手当てを受けること。

目の接触

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。目の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

摂取

飲みこんだ場合: 口をすすぐこと。多量の水を飲ませること。無理に吐かせないこと。気分が悪い場合は、中毒センターに連絡する。意識のない人には、決して何も経口投与してはいけません。暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断/手当てを受けてください。

最も重要な症状および作用 (急性および遅発性)

吸入すると有害。皮膚刺激。重大な目への刺激を引き起こす。遺伝性疾患のおそれの疑い。臓器への損傷を引き起こす 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。

医師の手当てと特別な処置が直ちに必要状態

症状によって処置する。

Top Tec ATF 1200

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

医師への注意:

飲みこんだ場合: 意識のない人には、決して何も経口投与してはいけません。肺に吸引するリスクがあるため嘔吐させないでください。嘔吐が自然に起こる場合は、誤嚥を防ぐために頭を腰より下に下げてください。

セクション 5: 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺の火災に適切な。炭酸ガス、粉末または泡消火器、水噴霧で消火する。耐アルコ<許 A 消火剤 (ATC 型) を推奨します。

不適切な消火剤

ウォータージェットを使用しない。直接水を噴射すると火炎が広がる可能性があります。

当該物質または混合物に起因する特別な危険性
消火作業者の特別な保護具と予防措置

可燃性/引火性はありません。: 燃焼生成物: 一酸化炭素, 二酸化炭素。
適当な距離から注意して消火すること。消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フェュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。消火活動による流出物を下水溝や河川を流入させないでください。

セクション 6: 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

注意 - 流出物は滑りやすい時もある。作業員は被暴を最小限にするように訓練されていることを確認します。流出物をとり除く間、適切な保護具を着用する。着火源をとり除く。危険がなければ漏出を遮断する。全ての接触を避けること。蒸気じんを吸入しないこと。適切な換気を確保する。摂取しないでください。飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

環境的予防措置

環境への放出を避けること。排水路、下水道または水路に入らないようにする。

封じ込めと清掃のための方法および資材

そうするのが安全であれば、漏出元を隔離する。蒸気は空気より重い; くぼみと閉鎖空間に気を付ける。機器が適切に接地されていることを確認してください。適切な換気設備がある場合、小規模の流出物は蒸発させる。難燃性の帯電防止保護服を着用する。化学防護服および呼吸装置を着用、装着してください。

セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

安全な取り扱いのための注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。発火源から離して保管する一禁煙。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。使用中および使用後に十分な換気を行うことによって、蒸気の蓄積を防ぐこと。火花を発生させない工具を使用すること。全ての接触を避けること。摂取しないでください。飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。蒸気じんを吸入しないこと。次の項を参照: 8. 高い産業衛生水準を維持します。取扱い後は手を完全に洗うこと。汚染された衣服は徹底的に洗濯する。

安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む)

容器を密閉しておくこと。熱源および着火源から離れた、換気の良い (乾燥した) 冷所/低温の場所に貯蔵すること。

保管温度

涼しく換気の良い場所に保管してください。

混触危険物質

~から離すこと: 強酸化物類。.

セクション 8: 暴露防止及び保護措置

職業暴露限度

確立されていない。

生物学的暴露指数

確立されていない。

適切な工学的管理

作業員は被曝を最小限にするように訓練されていることを確認します。適切な換気を確保する。換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。適切な衛生管理方法および雑務実施方法。眼と皮膚を洗浄するための洗浄施設/洗浄水があること。

個人用保護具（PPE）などの個人保護措置

必要な個人用保護具を使用する。適切な保護衣、手袋および目/顔面保護具を着用する。全ての接触を避けること。蒸気じんを吸入しないこと。休憩前及び作業後には手を洗うこと。作業着は分けて保管すること。汚染された衣類を脱ぐこと。作業場所では飲食、喫煙を行なってはならない。

保護衣は、扱う有害物質の濃度と量に応じて、作業場所専用を選択する必要があります。保護服の化学物質に対する耐性は、それぞれの供給業者に確認する必要があります。

目/顔面の保護



適切な目の保護具を使用する。（推奨：EN166）洗眼ボトルを準備しておかなければなりません。

皮膚の保護



手の保護: 不浸透性手袋を着用すること。浸透の問題を避けるため、手袋は定期的に交換すること。手袋素材の浸透時間：手袋メーカーの情報を参照。EN 374に準拠した480分以上の浸透時間に対応する、保護指数6。 .
推奨：ニトリルゴム。（最小厚さ - 0.4mm）；クロロプレングム（最小厚さ - 0.5mm）；ブチルゴム。（最小厚さ - 0.7mm）

体の保護: 皮膚に触れないように適切なカバ<I<扱・・pしてください。 推奨：EN 16405

呼吸器の保護



製品を加熱したとき/換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。 推奨：EN 14387 タイプ A

特定の条件に起因する危険性に対する特別な注意事項

予想されていない。

セクション 9: 物理的および化学的性質

基本的な物理化学的特性についての情報

外観
におい
臭いの閾値
pH 値
融点/凝固点 (° C)
初留点と沸騰範囲 (° C)
引火点(°C)
蒸発速度
燃焼性 (固体、ガス)
上限/下限可燃性または爆発限界
蒸気圧(mm Hg)
蒸気密度(空気=1)
相対密度
溶解度
分配係数 (n-オクタノール/水)

赤色。液体。
特性。
確立されていない。
確立されていない。
確立されていない。
確立されていない。
230° C
確立されていない。
確立されていない。
確立されていない。
確立されていない。
0.85 g/ml
水に不溶。
確立されていない。

Top Tec ATF 1200

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

| | |
|------------|--------------------------------------|
| 自己発火温度(°C) | 確立されていない。 |
| 分解温度(°C) | 確立されていない。 |
| 粘度(mPa. s) | 動粘度: 36.4mm ² /s @ 40 ° C |
| | 動粘度: 6.9mm ² /s @ 100 ° C |

| | |
|-------------|-------|
| 追加性質 | |
| 爆発性 | 非爆発性。 |
| 酸化性 | 非酸化性。 |

セクション 10: 安定性及び反応性

| | |
|------------|---|
| 反応性 | 普通の状態が安定。 |
| 化学的安定性 | 普通の状態が安定。 |
| 危険な反応の可能性 | 可燃性液体。 蒸気は空気より重く、着火源および逆火源までかなりの距離を移動することがあります。 |
| 避けるべき条件 | 昇温。 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 喫煙禁止。 直射日光を避ける。 |
| 混触危険物質 | ～から離すこと: 強酸化物類。 . |
| 危険有害性分解生成物 | 燃焼生成物: 一酸化炭素, 二酸化炭素 |

セクション 11: 有害性情報

| | |
|-------------------|--|
| 毒性に関する情報 | |
| 急性毒性 - 口 | 混合物。: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: LD50 >2,000 mg/kg 体重/日。 |
| 急性毒性 - 経皮 | 混合物。: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: LD50 >2,000 mg/kg 体重/日。 |
| 急性毒性 - 吸入 | 混合物。: Acute Tox. 4; H332: 吸入すると有害。 急性毒性推定混合計算: LC50 10 - 20 mg/l (蒸気。) |
| 水素処理軽パラフィン系石油留分 | Acute Tox. 4; H332: 吸入すると有害。 |
| 皮膚腐食性/刺激性 | NITE GHS 分類 混合物。: Skin Irrit. 2; H315: 皮膚刺激。 |
| Alkyl phosphites | Skin Corr. 1B; H314: 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷。 皮膚腐食性。 (ウサギ) (OECD 404) |
| 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 | 混合物。: Eye Irrit. 2; H319: 強い眼刺激。 |
| Alkyl phosphites | Eye Dam. 1; H318: 重篤な眼の損傷。 皮膚腐食性。 (ウサギ) (OECD 404) |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | 混合物。: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 |
| 生殖細胞変異原性データ | 混合物。: Muta. 2; H341: 遺伝性疾患のおそれの疑い。 |
| 水素処理軽パラフィン系石油留分 | Muta. 2; H341: 遺伝性疾患のおそれの疑い。 |
| 発がん性 | NITE GHS 分類 混合物。: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 発がん性の証拠はない。 |
| 生殖毒性 | 混合物。: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 生殖毒性があるという証拠はありません。 |
| 特定標的臓器への毒性 (単回暴露) | 混合物。: STOT SE 2; H371: 臓器の障害のおそれ。 |
| 特定標的臓器への毒性 (反復暴露) | 混合物。: STOT RE 1; H372: 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。 |

吸引性呼吸器有害性

混合物.: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
動粘度: 36.4mm²/s @ 40 ° C

その他の情報

知られていない。

セクション 12: 生態学的情報

毒性

混合物.: Aquatic Acute 3; H402: 水生生物に有害。
混合物.: Aquatic Chronic 2; H411: 長期継続的影響によって水生生物に毒性。
推定 (LC50) (魚類) 1 に 10 mg/l
ビス (ノナン-1-イルフェニル) アミン Aquatic Chronic 3; H412: 長期継続的影響によって水生生物に有害。
NOELR (魚類) (34d) 10mg/l (OECD 201)
3- (3,5-ジ-tert-ブチル-4-ヒドロキシフェニル) プロ Aquatic Chronic 4; H413: 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ。
パン酸のアルキル (C =7-9、分岐鎖) エステル 水生毒性の結果は、通常、はるかに厳しい分類になりますが、この物質は非常に不溶性で、容易に生分解されず、log Pow が 9.2 であるため、「セーフティネット」分類に割り当てられています。
Thiophene, tetrahydro-, 1,1-dioxide, 3-(C9-11- Aquatic Chronic 2; H411: 長期継続的影響によって水生生物に毒性。
isoalkyloxy) derivs., C10-rich 短期(急性): LL50 (96hr) (魚類) 2.4 mg/l (OECD 203)
Alkyl phosphites Aquatic Acute 1; H400: 水生生物に非常に強い毒性。
Aquatic Chronic 1; H410: 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
短期(急性): LL50 (24hr) (魚類) 2 mg/l (OECD 203)
長期(慢性): 利用できるデータなし
4,4'-スルファンジイルジエチレンビス[2- (オクタデセ Aquatic Acute 2; H401: 水生生物に毒性。
ン-1-イル) コハク酸水素] Aquatic Chronic 2; H411: 長期継続的影響によって水生生物に毒性。
短期(急性): LC50 (ダフニア・マグナ) (48hr) 9.5 mg/l (OECD 202)

残留性および分解性

水素処理軽パラフィン系石油留分 物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない
易生分解性なし(OECD 基準による)。
ビス (ノナン-1-イルフェニル) アミン 易生分解性なし(OECD 基準による)。
3- (3,5-ジ-tert-ブチル-4-ヒドロキシフェニル) プロ 易生分解性なし(OECD 基準による)。
パン酸のアルキル (C =7-9、分岐鎖) エステル
Thiophene, tetrahydro-, 1,1-dioxide, 3-(C9-11- 易生分解性なし(OECD 基準による)。
isoalkyloxy) derivs., C10-rich
Alkyl phosphites 易生分解性(OECD 基準による)。
4,4'-スルファンジイルジエチレンビス[2- (オクタデセ 易生分解性なし(OECD 基準による)。
ン-1-イル) コハク酸水素]

生物蓄積性

水素処理軽パラフィン系石油留分 混合物全体としてのデク[^]はありません。
物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない
この物質は生物濃縮の可能性が低い。
この物質は生物濃縮の可能性が低い。
ビス (ノナン-1-イルフェニル) アミン
3- (3,5-ジ-tert-ブチル-4-ヒドロキシフェニル) プロ この物質は生物濃縮の可能性が低い。
パン酸のアルキル (C =7-9、分岐鎖) エステル
Thiophene, tetrahydro-, 1,1-dioxide, 3-(C9-11- この物質は生物濃縮の可能性が低い。
isoalkyloxy) derivs., C10-rich 生物濃縮率 (BCF): 31
Alkyl phosphites 利用できるデータなし
4,4'-スルファンジイルジエチレンビス[2- (オクタデセ この物質は生物濃縮の可能性が低い。
ン-1-イル) コハク酸水素] 生物濃縮率 (BCF): 1.98

土壌中の移動度

水素処理軽パラフィン系石油留分 混合物全体としてのデク[^]はありません。
物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない

Top Tec ATF 1200

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

| | |
|--|---|
| ビス (ノナン-1-イルフェニル) アミン | この物質は土壌中での移動性が低いと予想される。 |
| 3- (3,5-ジ-tert-ブチル-4-ヒドロキシフェニル) プロ | 物質は複雑な UVCB である。 このエンドポイントの標準テストは単一物質を対 |
| パン酸のアルキル (C =7-9、分岐鎖) エステル | 象としており、この複雑な物質には適していない |
| Thiophene, tetrahydro-, 1,1-dioxide, 3-(C9-11- | この物質は土壌中での移動性が低いと予想される。 Log Koc 3.25 |
| isoalkyloxy) derivs., C10-rich | |
| Alkyl phosphites | この物質は土壌中での移動性が低いと予想される。 |
| | Log Koc 0.343 - 5.315 |
| 4,4'-スルファンジイルジエチレンビス[2-(オクタデセ | この物質は土壌中での移動性が低いと予想される。 |
| ン-1-イル) コハク酸水素] | Log Koc 9.42 |
| オヤ洶 w に対する有害な影響 | |
| 水素処理軽パラフィン系石油留分 | この物質にオゾン層破壊の可能性はない。 |
| ビス (ノナン-1-イルフェニル) アミン | この物質にオゾン層破壊の可能性はない。 |
| 3- (3,5-ジ-tert-ブチル-4-ヒドロキシフェニル) プロ | この物質にオゾン層破壊の可能性はない。 |
| パン酸のアルキル (C =7-9、分岐鎖) エステル | |
| Thiophene, tetrahydro-, 1,1-dioxide, 3-(C9-11- | この物質にオゾン層破壊の可能性はない。 |
| isoalkyloxy) derivs., C10-rich | |
| Alkyl phosphites | この物質にオゾン層破壊の可能性はない。 |
| 4,4'-スルファンジイルジエチレンビス[2-(オクタデセ | この物質にオゾン層破壊の可能性はない。 |
| ン-1-イル) コハク酸水素] | |
| その他の有害な作用 | 知られていない。 |

セクション 13: 廃棄上の注意

| | |
|---------------|--|
| 廃棄物処理法 | 内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。 |
| 追加情報 | 排水路、下水道または水路に入らないようにする。 環境への放出を避けること。 空の容器と廃棄物は安全に廃棄すること。 |

セクション 14: 輸送上の注意

| | ADR/RID | 国際海上危険物 | ICAO/IATA |
|---|--|--|--|
| 国連番号 | UN 3082 | UN 3082 | UN 3082 |
| UN 適切な船積み名 | 環境的に有害な物質、液体、N.O.S. (Alkyl phosphites) | 環境的に有害な物質、液体、N.O.S. (Alkyl phosphites) | 環境的に有害な物質、液体、N.O.S. (Alkyl phosphites) |
| 輸送危険分類 | 9 | 9 | 9 |
| 輸送危険分類 | III | III | III |
| 海洋汚染物質 | 環境的に有害な物質 | 海洋汚染物質に分類されている。 | 環境的に有害な物質 |
| 使用者に対する特別な注意事項 | 次の項を参照: 2 | | |
| MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送 | 該当なし。 | | |

セクション 15: 適用法令

特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律

| | |
|-----------------------|-------------------------|
| 労働安全衛生法 (ISHA) | |
| 通知対象物 | 水素処理軽パラフィン系石油留分: ≥ 0.1% |
| 表示対象物 | 水素処理軽パラフィン系石油留分: ≥ 1% |
| 有機溶剤。 | 該当なし。 |
| 作業環境負荷基準の管理濃度 | 該当なし。 |
| 毒物及び劇物取締法 | 該当なし。 |
| 化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律 | |
| 優先評価化学物質 | 該当なし。 |

Top Tec ATF 1200

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

既存化学物質
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)
消防法

ビス (ノナン-1-イルフェニル) アミン
該当なし。
第四類 引火性液体 第三石油類 危険等級 III

セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 該当なし。 - V1.0

参考文献:

既存の安全データシート (SDS). NITE 化学物質総合情報提供システム. 既存の ECHA 登録 水素処理軽パラフィン系石油留分 (CAS 番号 72623-87-1); ビス (ノナン-1-イルフェニル) アミン (CAS 番号 36878-20-3); 3- (3,5-ジ-tert-ブチル-4-ヒドロキシフェニル) プロパン酸のアルキル (C =7-9、分岐鎖) エステル (CAS 番号 125643-61-0); Thiophene, tetrahydro-, 1,1-dioxide, 3-(C9-11-isoalkyloxy) derivs., C10-rich (CAS 番号 398141-87-2); Alkyl phosphites (EC 番号 424-820-7); 4,4'-スルファンジイルジエチレンビス[2-(オクタデセン-1-イル) コハク酸水素] (CAS 番号 93882-40-7)

この安全データシートは、日本工業規格 JIS Z 7252 : 2019 および JIS Z 7253 : 2019 に従って編集されています。

| 物質または混合物の分類 以下に準拠 JIS Z 7252:2019 | 分類手順 |
|-----------------------------------|---------------------------|
| Acute Tox. 4; H332 | 急性毒性推定値 (acute) (ATE) 算出。 |
| Muta. 2; H341 | 閾値計算 |
| Skin Irrit. 2; H315 | 閾値計算 |
| Eye Irrit. 2; H319 | 閾値計算 |
| STOT SE 2; H371 | 閾値計算 |
| STOT RE 1; H372 | 閾値計算 |
| Aquatic Acute 3; H402 | 積算 |
| Aquatic Chronic 2; H411 | 積算 |

注釈

| | |
|-----------|--|
| ADR/RID | ADR: 陸路による危険物の国際運送に関する欧州協定 / RID: 危険物の国際鉄道輸送に関する規制 |
| BCF | 生物濃縮率 (BCF) |
| CAS | CAS: 化学情報検索サービス |
| EC | EC: 欧州共同体 |
| EU | 欧州連合 |
| IATA | IATA: 国際航空運送協会 |
| ICAO/IATA | ICAO: 国際民間航空機関 / IATA: 国際航空運送協会 |
| 国際海上危険物 | IMDG: 国際海上危険物 |
| LTEL | 長期暴露限界 |
| 無影響濃度 | 無影響濃度 |
| OECD | 経済協力開発機構 |
| PBT | PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性 |
| STEL | 短時間暴露限界 |
| UN | 国連 |
| vPvB | vPvB: 高難分解性、高生物蓄積性 |
| LL50 | 致死負荷率 |
| NOELR | 最大無影響負荷率 |

危険有害性分類 / 分類コード:

Flam. Liq. 4; 引火性液体, 区分 4
Acute Tox. 4; 急性毒性, 区分 4
Asp. Tox. 1; 吸引性呼吸器有害性, 区分 1
Skin Corr. 1B; 皮膚腐食性/刺激性, 区分 1B
Skin Sens. 1; 皮膚。感作性, 区分 1

危険有害性情報

H227: 可燃性液体。
H302: 飲み込むと有害。
H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H314: 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷。
H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

Top Tec ATF 1200

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

| | |
|--------------------------------------|--------------------------------|
| Eye Dam. 1; 眼損傷, 区分 1 | H318: 重篤な眼の損傷。 |
| Acute Tox. 4; 急性毒性, 区分 4 | H332: 吸入すると有害。 |
| 生殖細胞変異原性 区分 2; 生殖細胞変異原性データ, 区分 2 | H341: 遺伝性疾患のおそれの疑い。 |
| STOT SE 2; 特定標的臓器への毒性 (単回暴露), 区分 2 | H371: 臓器の障害のおそれ。 |
| STOT RE 1; 特定標的臓器への毒性 (反復暴露), 区分 1 | H372: 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害。 |
| Aquatic Acute 1; 水生環境有害性, 急性, 区分 1 | H400: 水生生物に非常に強い毒性。 |
| Aquatic Acute 2; 水生環境有害性, 急性, 区分 2 | H401: 水生生物に毒性。 |
| Aquatic Acute 3; 水生環境有害性, 急性, 区分 3 | H402: 水生生物に有害。 |
| Aquatic Chronic 1; 水生環境有害性, 慢性, 区分 1 | H410: 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。 |
| Aquatic Chronic 2; 水生環境有害性, 慢性, 区分 2 | H411: 長期継続的影響によって水生生物に毒性。 |
| Aquatic Chronic 3; 水生環境有害性, 慢性, 区分 3 | H412: 長期継続的影響によって水生生物に有害。 |
| Aquatic Chronic 4; 水生環境有害性, 慢性, 区分 4 | H413: 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ。 |

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順で関わることや将来的な被爆の程度に影響を及ぼします。

免責事項

この出版物に含まれている情報または使用者様に提供される情報は正確であると考えられ、誠意を持ってご提供する一方で、使用者様は、各自の特定の目的に対して、製品の適合性に関する判断を自らの責任の下で行うものといたします。LIQUI MOLY GmbH は、特定の目的に対する製品の適合性について一切保証いたしません。また、黙示的な保証または条件 (法定またはその他) は、法律で除外が禁止されている場合を除き、除外されます。LIQUI MOLY GmbH は、本情報への依存に起因する損失または損害について責任を負いません (欠陥のある製品によって引き起こされた死亡、または人身傷害に起因するもので、それが証明された場合は除きます)。特許、著作権、意匠に基づく自由は想定できません。